

浜坂病院 発熱外来診療体制整備・ワクチン接種にも協力中

新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、兵庫県の相談窓口へ
【電話】 078-362-9980（24時間受付：専用ダイヤル）

ワクチン接種関連 問合せ先：新温泉町ワクチン接種コールセンター（0796）99-2011

どうなる？巨大風力発電プロジェクト



「いのちをつむぐ会」の会報（4号）をいただきました。詳細な情報と風力発電事業阻止への熱意が伝わってきました。

この思いとパワーが大切だと思います。地域の「阻止」の願いを叶えたいと思います。

議員活動を振り返って

悩むことの多い試行錯誤の活動だったように思います。

本来であれば、みなさまの声を届けなければならない立場でありながら、思うがままに突っ走ってきたように思います。

この通信は自らの位置確認が目的ですが、声を掛けていただくことで、その目的が達成されます。ただ、「難しすぎる」というご意見もたくさんいただきました。

町議会の「議会だより」と異なった視点で詳細な内容をお知らせしたいとの思いで記しています。

今後も地域を元気にするための①ふるさと納税制度の活用（個別地域活動への支援制度の創設）

②浜坂認定こども園の安心安全と多くの納得が得られる整備方針決定のための提案などを中心に議員活動を進めるつもりです。ご意見をお聞かせください。

ささいな出来事

6月初旬、我が家の玄関先に体長8cmのモリアオガエルが現れ、水連鉢と壁との隙間に産卵しました。下はただの土間なので受け皿を作ってやったところ、たくさんのオタマジャクシが誕生しました。その後、大きな鉢に移してやりました。メダカの餌を食べ成長したオタマジャクシは、いつの間にかいなくなりました。



報告

前号で紹介させていただいた我が家の裏庭の桃の木は、結局3つの桃を実らせましたが、突然2つが鳥？に持ち去られてしまいました。残った1つを種にするため収穫しましたが、後は、葉を付けた枝の命を繋ぐ方を検討したいと思います。ご存じの方は、教えてください。



むだばなし

<夏の終りの謹み> お盆が過ぎ、ミンミンゼミやツクツクボウシの鳴き声が大きくなってきたように思います。皆さま、如何お過ごしでしょうか。我が家の田んぼも、黄金色に色づき始めました。

私の村（井土）では、毎年8月14日に「まんどい」という初盆になる仏様をお迎えする行事をします。

今年は、私も親しくさせていただいてお二人の方でした。お一人は、私が成人してからは鳥取にお住まいのおばちゃん、畑や田んぼの世話のため、毎週のように息子さんと一緒に帰省して、農作業に取り組んでおられました。とてもお元気な生活ぶりでしたが、急な病でお亡くなりになりました。

もうお一人は、目の前のお家（うち）のおばちゃん、私が2歳の頃、嫁いでこられた方ですが、何故かお嫁入りの光景が短編動画として私の記憶に残っています。

よく、デイサービスを利用されていましたが、施設のテレビに私の一般質問の様子が映し出されると「河越議員さんだ、見て、見て」と紹介するんだとおっしゃっておられました。

この「柝の実通信」も毎回のよう「読んだよ！ご苦労さんだね。」と声を掛けていただいていた。

昨年のお盆の棚経で、お寺さんの来られる時間を気にされて、我が家に問い合わせに来られたことが思い出されます。

お盆前には、私が幼い頃、パッチン（めんこ）やビー玉遊びを教えてもらった近所の先輩も亡くなられ、寂しいと同時に、これからの地域（村）づくりへの責任を感じています。



町政報告 2021年夏第15号

とち 柝の実通信

（ただっちゃん つうしん）

新温泉町議会議員

かわごえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428 FAX92-2206

E-mail: take2428co@coffee.ocn.ne.jp http://take2428.com/

穴見海岸の絶景

浜坂認定こども園整備（町全体の問題だ）

令和3年6月議会で町当局から提案された浜坂認定こども園整備候補地（現在地周辺と役場東側）を比較検討するための業務委託費用（500万円）の補正予算は減額修正動議が可決（賛成9・反対6）され、認められませんでした。この採決では、各議員は様々な思いで臨まれたことと思います。そして、この案件には様々な課題が潜在しているように思えます。

浜坂認定こども園の整備は、子育て世代や子どもたち或いは浜坂地域の皆さんだけの問題ではないと思います。町当局は浜坂認定こども園の整備に関して、土地の取得費用に差があっても10億円超が必要であると説明しています。今すぐ取り組まなければならない教育・医療・福祉・コロナ禍の経済対策などの課題がある中での議論は、皆さんの思いが前提となっているのでしょうか。

私は、整備検討委員会の検討から町当局提案、議会の対応まで、双方向の対話になってこなかったように思え、大変申し訳なく思っています。今、改めて課題・条件を整理し、着実に事業が進められる方策を見出すべきだと思います。詳細については次項をご覧ください。

各議員の賛否	池田議員	平澤議員	河越忠志	重本議員	浜田議員	森田議員	太田議員	竹内議員	阪本議員	岩本議員	中村議員	宮本議員	中井次議員	谷口議員	小林議員
	賛	賛	否	否	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛

新温泉町では、昨年から続くコロナ禍の影響による観光関連産業をはじめ地元企業が経済的に大きな打撃を受けています。

また、県下でも人口減少率はトップで、特に近年の年間出生数が60人程になっている現状は町の大きな課題です。

今、求められる我が町の取り組み

感染症関連施策

- ① 感染症による国・県の救済制度の十分な活用支援及び制度から外れる個人・企業への町独自の救済制度創設
- ② 町民への感染防止支援及び感染防止対策徹底啓発

人口減少対策

- 若者が定着しやすい環境づくり（就業、子育て、教育、医療、地域コミュニティ）
- ① 漁業・畜産等への就業支援、地域企業の連携・雇用維持支援、地域企業への就業支援、Uターンを見据えた進学支援、地域コミュニティ職づくり等
 - ② 子育て支援給付制度・奨学金制度、医療保険制度等創設
 - ③ 地域運営組織、集落営農、自主防災組織等地域コミュニティ維持・再生への取り組み支援等
- 以上、一例ですが、皆様のアイディアが町の力になります。

浜坂認定こども園整備方針再検討を！



整備候補地検討経緯の問題点

浜坂認定こども園整備検討委員会は現在地東側及び北側を候補地として答申され、役場の内部検討により東側を第1候補地に決定されました。その決定と地域の方々からの要望書が、町長の言動を決定づけているように思います。

問題点1：整備検討委員会の検討経過、その後

整備検討委員会の委員のみなさんは、真剣に検討されたと思います。一方、浜坂認定こども園職員さんの「周辺道路が冠水し、怖い思いをされたり不安になられた経験」が答申に反映されていないと思います。何故なら、現在地東側及び北側を候補地として答申される時点で、孤立しない方策が盛り込まれておらず、町当局も地盤の嵩上げと屋上からの避難と事前避難のみを防災対策として掲げられ、味原川の改修設計基準とされている10年に一度の最大降雨程度への防災対策さえ危うい答申をされたことになると思うからです。（答申の振り返りが進展に繋がります。）

問題点2：認定こども園整備事業における町長対応

町長は議会が現在地東側での整備を否定したにも関わらず、本年3月議会まで新たな防災対策を示すことなく、同位置での整備に固執されたことは、町民に対して不誠実だったと思います。

問題点3：こども教育課の別の候補地決定経緯

こども教育課は、3月議会中の常任委員会で、役場東側を第2の候補地として公表しました。しかし、議会が過去に現在地東側の土地鑑定料の予算を2度認めず、議会の大勢が現在地周辺での整備に否定的であると判断したとしても、整備検討委員会及び教育委員会の上承を得ることなく、新たな候補地を決定公表した経緯は不適切だと思います。

最後に

この経過の中で結果として、子どもたちや保護者の皆様の子育てや就労のための環境改善が進められませんでした。議員の一人として、大いに責任を感じています。

整備現候補地の課題

現在地周辺

現在地周辺は50年に1度の最大降雨による浸水想定では道路面で3m、1000年に1度の最大降雨では6m程度の浸水深が想定されています。行政としては、最低でも50年に1度の最大降雨に耐え得る施設整備が必要だと思いますが、町当局は全く方策を示せていません。

役場東側

現候補地の前面道路は、通園バスと他の車とがすれ違い困難な状況です。また、確保できる土地面積が現在の敷地の80%未満であり、園庭・駐車場確保に課題があり、目的とする規模の施設とするためには2階建て以上にする必要があります。

選定のためには情報不足

直面する真の課題

浜坂認定こども園は築43年（大庭は築47年）が経過し、利用上の支障がある状況です。

0歳児を含む低年齢児保育設備も整っていません。この課題は、大庭認定こども園にも共通しています。これらの課題は放置できない課題だと思います。

浜坂認定こども園整備と並行して、無駄の無い方法により早急に対応策を講ずべきではないでしょうか。

浜坂認定こども園整備は、しっかりと条件整理が必要だと思います。大きな施設整備は町民が納得できる決定過程が重要だと考えています。

候補地環境調査業務予算削減案 反対討論（河越）

本年3月8日並びに4月27日の民生教育常任委員会での浜坂認定こども園整備にかかる「こども教育課」の報告では、「役場東側の製材所跡地」と議会で2度、土地鑑定料の補正予算が否決された「現浜坂認定こども園東側圃場」を整備候補地として比較し、更に専門家による調査・検討が必要との説明がなされました。

その提案は、全く議論の余地がないものと今現在も否定的に考えています。しかし、本議会での本件にかかる補正予算の内容は、「現浜坂認定こども園東側圃場」から「現浜坂認定こども園東側を除く周辺」に変更されました。また、6月16日の民生教育常任委員会で本件にかかる検討の経過の報告において、担当課と町長の考え方に大きな隔たりがあることが明確になりました。私は、コンサルタントは依頼者の意向に沿った結論を出すことが使命だと考えています。従って、町当局の意向が1つであれば、発注に相当のチェックを入れなければ、議会の判断材料にならない報告書が提出される可能性が高いと判断される点からも、反対の立場で意見を申し上げてきました。この点においても私の考える条件に変更があります。町当局が2つの意見を持ってコンサルタント業務を発注すれば、それぞれの意見に対する判断ができる有効な報告が得られる可能性が高くなってきたと判断しました。

一方、この予算を減額修正すれば、事後説明をしたとしても、本議会では「現浜坂認定こども園の周辺」での整備を要望されてきた方々の思いを門前払いにすることと同じになってしまうのでしょうか。私は、職業柄（建築家）依頼者の意向に沿った提案を心がけてきました。意向に沿った課題解決が仕事だと思っています。また、様々な検討過程が大切だと思っています。それぞれの地域には、それぞれの課題があり、その解決策があると思います。浸水想定区域であっても、周辺全域が嵩上げされれば、浸水想定区域から外れます。これは、極端な例ですが、逆に敷地の面積や形状により、依頼者の求めを満足させられない計画提案しかできない場合もあります。

役場東側製材所跡地を事前検討されないまま、浜坂認定こども園の整備地として決定すれば、後戻りはできません。且つ、議会が、その整備内容に関わる事が無いまま、事業が進められる可能性が高いと思っています。端的な例が「道の駅」です。関わられた当時の議員の皆さんはどのような評価をされているのでしょうか。議会が関わったようで、実は深く関われないのではないのでしょうか。夢ホールの耐震改修が当初予算5億円から7億円に増額になり、八田地域交流センターも予算が4割増額になりました。しかし、議会には詳細な資料は提出して貰えないのが、現状です。

この業務の予算を削除してしまえば、「役場東側の製材所跡地」で、どんな計画が可能かも確認されないまま、また、解決できない課題があるかも知れないことも理解されないまま候補地が決定されます。それで良いとは、私には思えません。後戻りできないのです。（賢明な判断を期待します。）



浜坂高校存続は重要課題

地元高校の存在は、地域存続の大きな力だと思います。しかも、中学生によって積極的に選択される高校として存続させることが重要だと思います。

その実現のためには、他地域からの生徒の受入れ可能な環境づくりと選ばれる魅力づくりが同時に求められます。

県立高校だから「県にお願いすれば良い」は通用しません。

浜坂中心市街地活性化にとっても更に大きな要素だと考えています。この存続活動は行政任せではなく、住民活動としての展開が必要だと思います。

今まで議会で提案し続けてきた「ふるさと納税制度」を活用しての直接的活動支援制度づくりが本町にとって、財源がなくてもできる唯一最大の方策だと思います。



ふるさと納税制度の有効活用を！

昨年の9月議会で「ふるさと納税制度」による個別活動支援制度創設の請願が不採択となりました。人口減少が進む我が町の子どもたちのために皆さんも一緒に考えてみてください。